




# ほけんだより 1月


令和3年1月15日（金）

**みそらこども園感染症情報**  
12月1日～31日  
ウイルス性胃腸炎 4名  
突発性発疹 4名

冬のあせも・とびひ

あせもやとびひと言えば、夏場のイメージが強いですが、最近は暖房や厚着が原因で、冬場でもなる子どもが多いようです。こどもは代謝が良く、たくさん汗をかくので、服装は大人より1枚少なめが基本です。乳児は特にオムツの中がむれやすくなるので上下のつながったタイプの肌着はなるべく避け、時々背中に触れて、汗をかいていないかどうか確認しましょう。




## 気を付けよう！冬場の室内での事故！！

寒いこの時期、お家の中で過ごす時間も多くなりますが、冬場ならではの怪我にも注意が必要です。

○やけど・・・ストーブ・ファンヒーター・ホットプレートなどは、こどもが触らないように囲いをしましょう。熱い飲物が入ったコップなどは、こどもの手が届く所に置かないようにしましょう。手が届かなくても、テーブルクロスをひっぱって、熱い飲物が体にかかる怪我也有ります。何か物を置く際は、普段のこどもの様子から、動きを想像して、危なくないかを必ず確認して置くようにしましょう。

やけどをした場合・・・まずは、最低20分は冷やします。水道水を直接やけどにあてるのではなく、洗面器やボールなど水をはれる物に、やけどした所をつけ水道水を流しながら冷やします。衣類などを着たままのやけどは衣類は脱がせずに、衣類を着たまま冷やします。頭や顔など水道水で冷やせない場所は、保冷材や氷水をビニール袋に入れて冷やします。

水疱ができた際は、やけどの中では、Ⅱ度の熱傷になるので、受診をします。また、やけどの範囲が体表面の1%以上（こどもの場合は、こどもの手のひらの大きさが=1%）のやけどや皮膚が白っぽい、黒っぽいやけど、感電や薬品によってやけどをした場合は、救急車を呼びましょう。

○こたつでの脱水もこの時期注意しましょう。こたつで寝た場合は布団に移動させましょう。